

しなやかな脳 柔軟な社会

2009年 4月21日(火)
18:00 — 19:30

(事前登録不要・参加無料)

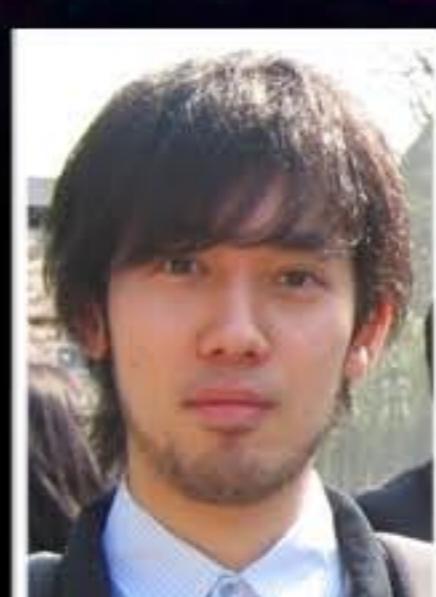
「脳カフェ」とは?

今日、「脳」に対する社会の関心はますます増しています。一方、脳科学は発展途上にあり、複雑な脳の働きはまだ解明段階です。私たちは脳をどこまで理解することができるのでしょうか。また、脳科学に何を期待することができるのでしょうか。このたび、脳に関心を持つ人々が集い、自由に語り合うことのできる場を目指し、「脳カフェ」を開催いたします。定期的に開催し、尽きない話題を語っていく予定です。ぜひお気軽にご参加ください。

今回のテーマ

今回のゲストである菅野さんは、うつ病や薬物・アルコール依存症に関する神経伝達物質の研究をされています。自閉症や性同一性障害、さらには「遺伝か環境か」という話題に関して脳科学で得られた最新の知見を交えて話をいただきます。科学と社会の関係はどういう意味で「柔軟」と言えるのでしょうか?

ゲスト



菅野康太

理学系研究科 生物科学専攻
博士課程

ファシリテーター 関谷翔

総合文化研究科 広域科学専攻
博士課程

場所
東京大学駒場キャンパス
初年次活動センター

